

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 4 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市図書館協議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p>						
日 時	令和 5 年 2 月 2 4 日 (金)		開会	午前 1 0 時 0 0 分		
			閉会	午前 1 1 時 4 0 分		
場 所	中央図書館 視聴覚ホール					
出 席 者	委 員	出井委員長	檜山副委員長	伊垣委員	金高委員	木村委員
		○	○	○	欠	○
		小森委員	本木委員	野澤委員	野瀬委員	渡邊委員
		○	○	○	○	○
	事務局	<p>○教育委員会生涯学習課 土田課長 古川主査 石井主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑中央館副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p>				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 「第 4 次富士見市子ども読書活動推進計画」パブリックコメント実施報告</p> <p>3. 各館事業報告 (令和 4 年度 1 1 月～1 月分) 中央・鶴瀬西・ふじみ野</p> <p>4. その他 (次回日程決定)</p> <p>5. 閉会</p>					
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見市図書館協議会 令和 4 年度 2 月定例会次第 ・ 令和 4 年度 1 1 月～1 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・ 第 4 次富士見子ども読書活動推進計画パブリックコメント報告 ・ さざなみだより (2 0 2 3 年 1 月号～3 月号) ・ とびらしんばん (2 0 2 3 年 2 月号) ・ BOOK ADVENTURES (2 0 2 3 年 1 ・ 3 月号) ・ つるせにしんばん (2 0 2 3 年 1 月号～2 月号) ・ ぶんちゃんしんばん (2 0 2 3 年 1 月号～2 月号) 					

議 事 内 容

田畑副館長	<p>1. 開会 開会あいさつ</p> <p>2. 「第4次富士見市子ども読書活動推進計画」パブリックコメント実施報告</p>
生涯学習課	<p>資料に基づいて報告 令和5年1月16日から2月15日に実施した。意見の件数は65件、提出人数は4名の方だった。 主な意見は、ボランティアの育成、学校図書館について、市の考え方について、1人1台端末の取扱いについてなどだった。 今後の予定は3月9日の教育委員協議会、3月20日の教育委員会会議で本計画が決定する。令和5年4月以降に発行する。</p>
委員長	<p>質問、ご意見はあるか。</p>
委員	<p>パブリックコメントの資料を拝見したが、昨年12月9日の図書館協議会で検討したことが考慮されていないようだが、委員の意見は反映されないのか。</p>
生涯学習課	<p>その意見も含めて今回回答案を作っている。</p>
委員	<p>その回答は3月9日にでるのか。</p>
生涯学習課	<p>3月9日だと日が無いので、3月下旬から4月頭になる予定。回答をまとめ、起案決裁の後ホームページに上げる。</p>
委員	<p>意見をいただき、案から変わりうるものはあるか。</p>
生涯学習課	<p>反映するものはあると思う。</p>
委員	<p>65件の意見を全て起案としてあげるのではなく、担当で抜粋してあげるということか。</p>
生涯学習課	<p>全ての意見に対して一つ一つ回答する。</p>
委員	<p>意見にリンクして計画書が策定されるということか。</p>
生涯学習課	<p>ご意見を反映する場合は計画本文の文言を変えたりするが、下案を詰めている段階である。</p>

3. 各館事業報告（令和4年度11月～1月分）

図書館

【中央図書館】

・資料に基づいて報告

まずおはなし会について。12月はクリスマス、1月にはお正月があったので、それに沿ったおはなし会をひらいた。

託児サービスはどんどん利用者が増えている。お子さんを預かり、その間お母さんにゆっくり本を読んでいただいている。常連の方もいる。

ボランティア活動として勝瀬中の生徒さんが来ている。配架やイベントのお手伝いをしていただいている。

ロビーコンサートも人気があり、参加者はどんどん増えている。

自主事業について、11月は3年ぶりに図書館まつりを実施した。今年の図書館まつりは、富士見市市制50周年記念事業だったため、なるべく富士見市に関連のある方々に参加をお願いした。「タイムカプセル開封式・封入式」には、当時タイムカプセルに手紙を投函した市民の方に、出席と一言をお願いした。コンサートも富士見市在住の方にお越し、長年富士見市で活動をしている「ふじみビデオクラブ」には富士見市の50年を上映していただき、「ほうきづくり伝承会」や「富士見市扇だこ保存会」には、その活動を市民の方にぜひ知っていただきたく実演をお願いした。今回とても評判がよく、皆さんに喜んでいただけたので、これからも市民の方たちと協力して、図書館まつりを計画していければと思う。

タイムカプセルを開封したので、28年前に書いたメッセージを当時の子ども達に返したいのだが、図書館が使用できる媒体を全て使って告知しているが難しい。もし、知り合いがいたら声をかけて欲しい。個人で手紙を入れてくれた方たちには、その当時の住所に、取りにきてくれるよう手紙を出したが、半数近くがまだ残っている。

「大人の栄養の話」は、富士見市健康増進センターの管理栄養士の方に講座をお願いした。私たちは栄養についての知識がとても偏っていることを痛感した。体に良いと思ってたくさん食べていた物が実はあまりよくなかったり、逆に、避けていた物に体に良いものがあったりと、こういう機会にプロに聞かなければ分からなかったことばかりで、参加者の方たちも非常に満足されていた。

	<p>「絵本セラピー」は図書館スタッフが行った。大人を対象に絵本を読んで、その時の感情を話し合うものであり、今後も2回3回と回を重ねていきたい。</p> <p>「バリアフリー映画会」は、障がい者も健常者も一緒に楽しめ、また評判も良かったので毎年続けていきたい。</p> <p>「クリスマス工作会」と「お正月工作会」は同日の午前と午後で行った。クリスマス工作会の参加者は親子が多く、お正月の方は熊手を作ったので、お年寄りの参加も多かった。来年も開催したいと思っている。「クリスマスおはなし会」はスタッフがサンタクロースになり、こちらも好評であった。</p> <p>毎年恒例の「貸出福袋」は、今回からタイトル一覧表を作成し、袋もタイトルの50音順に置き、好きなタイトルを選んで袋を取ってもらえるようにした。また、タイトルの横には、それを詰めたスタッフの思いを一言のせ、ウサギの葉もつけた。1月5日から始まり8日で全て貸出となった。</p>
委員	<p><質疑応答></p> <p>図書館まつりでは「ほうきづくり」で参加させていただいた。その際、リサイクルフェアに並んでいる方の動線が非常に気になった。</p>
図書館	<p>例年リサイクルフェアは午前中にするのだが、今年は「富士見市子ども読書コンクール」の表彰式と「タイムカプセル開封式・封入式」があったため午後からの開催となった。来年からは大丈夫だと思う。</p>
委員	<p>リサイクルフェアに並んでいる方も待っている間、ほうきづくり会場にいらしてくれたので良かった。</p>
委員	<p>リサイクルフェアの開始30分前に行ったが、既に並んでいて実際1時間半待った。その間動く事ができなかった。待つ時間が分かれば、その間に他を見ることができた。尚且つ待っている方の中には身体障がい者の方もいて、そういった方への配慮もお願いしたい。報告書にも長時間待たせてしまったことへの苦情もあったと書いてあるが、来年度の計画としてはどうか。</p>
図書館	<p>リサイクル会場にはコロナ前はいっぺんに20人ほど入れていたが、コロナ禍では密にならないように7～10人程度だったので、いつまでも列が解消できなかった。</p>
委員	<p>来年からは整理券を配布するとか、並ぶにも密にならないよう、長時間待たないよう対策してほしい。</p>

図書館	3年ぶりだったので過去最高の人出だった。私たちも想定外でご迷惑をお掛けしてしまった。来年度に向け検討していく。
委員	読み聞かせボランティアあいあいとして、初めて公園で読み聞かせする機会をいただいたが、開催時間が11時～と11時半～とで連続だったので、次回からは時間が空くようお願いしたい。そうすれば、もう少し色んな方に参加してもらえと思う。
図書館	午前と午後など検討していく。
委員	読書コンクール表彰式にも参加させて頂いたが、POP 作品展示がリサイクルですぐに撤去されてしまったのが残念だった。展示場所も考えていただけると良いと思う。
図書館	図書館まつりは全体的に反省することが多かったが、今回は普通の図書館まつりにプラスして市制50周年のタイムカプセル開封式・封印式もあり、色んなイベントが詰まってしまい、ご迷惑をかける場面が多かったが、来年は大丈夫かと思う。
委員	リサイクルで長時間待ち、苦情もあったということなので、開催後「ご迷惑をお掛けしました」等の掲示があればよかったのではないか。
委員長	確かに行事が重なったという事があるので、次回はスムーズに流れるのではないかと思う。おはなし会で時間も連続だと公園にいる方も同じようになってしまうので、午前に都合のいい方、午後が都合のいい方がいらっしゃるのでは、違う時間の方が良いのではないかと思う。
図書館	<p>【鶴瀬西分館】 ・資料に基づいて報告</p> <p>おはなし会は曜日や対象によって平均的ということはないので、その都度準備して対応していきたい。</p> <p>学校連携では、11月はつるせ台小の秋祭りに参加させていただき、紙飛行機を作り飛ばして遊んだ。また、鶴瀬小学校2年生の図書館見学があった。11月21、22日の「図書館の仕事をやってみよう」は、これまで図書委員会対象にやっていたが、学校側より5、6年生対象でお願いしたいとの依頼があり参加者を募った。</p>

1月15日 YA サポーター交流会として、富士見台中学校から YA サポーターとして活動したいという4名に参加してもらった。来年度の事業に協力していただければと活動を開始している。

1月20日は、つるせ台小、鶴瀬小新1年生入学説明会時に図書館利用カード登録、電子図書館登録の依頼をしている。

外部連携としては、近隣公民館や施設に、鶴瀬西分館のイベントの告知周知をしているところだが、今回近隣幼稚園の富士見台幼稚園と銀の鈴幼稚園と繋がることが出来た。「つるせにししんぶん」やイベントのチラシを置いていただいている。富士見台幼稚園では、今年のプレ保育に参加されている方にもチラシを配布していただいている。

自主事業について、「飾り結びワークショップ」は何回かやっているが、ワークショップの参加が初めての方や、これまで西分館の折り紙講座や、ふじみ野分館での講座に参加された方もいらっしゃり、何かを作ることが好きな方が、市内の図書館を使われて参加しているというお話を伺うことができた。また、ご自宅でも何かを作りたいということから、展示した資料の貸出にもつながっている。

富士見市子ども読書コンクール POP 作品展示について、ここ数年近隣の富士見台中学校、つるせ台小学校、鶴瀬小学校の作品と受賞作品を掲示させていただいている。

クリスマスの館内企画として、1枚の折り紙から2つの小さなクリスマスツリーができるものを用意した。その内1枚を図書館に持ってきてもらい、館内のアドベントカレンダーのような台紙に張っていただいた。折り紙をカウンターで用意していたところ、子どもから大人の方まで興味をもっていただいた。

「親子で楽しむクリスマス リズムコンサート」は、今年もコロナ禍であったため、昨年よりは1組だけ増やして実施した。1部と2部に分け、同内容で行った。フルートと電子ピアノの演奏もあり、本物の楽器の音が聞けることが良いと思っている。会場内にはクリスマスの絵本も用意した。

新春福袋は、一般・YA・小学校高学年・中学年・低学年・幼児・あかちゃんと、7種類5個ずつ用意した。中身の選定はある程度職員が選んだ本の中から、「図書館の仕事をやってみよう」の企画に参加したつるせ台小高学年の子たちが厳選してくれた。その厳選から漏れたものは「残り物には福がある」ということで並べた。小学生に選書理由、当たりくじ・はずれくじなども書いてもらった。子どもた

	<p>ちの選書の発想は、「ここが面白そう」など幅広く柔軟な発想があり意義深かった。</p> <p>がん情報コーナーでは「人生に向き合うブックリスト」が出たので、その中から4点を掲示するという形で行った。</p> <p>「本の中の昔の道具」展は今回初めての試みで、鶴瀬地区には資料館がなく、遠くまで行かなければならないのだが、「図書館でも見られる」ということを実施したく、人材バンクの小森さんに繋いでいただき、大風をお借りしたり、難波田城資料館より糸車などをお借りしたり、展示・遊ぶコーナーも作った。糸車は教科書にも載っていて小学校にも貸出しもされているが、実際に使うことはしていないと伺ったので、図書館では実際に体験していただけるようにした。近隣の小学校にも案内したところ沢山の方が体験をしに来てくださった。10時から4時まで長い時間開催させていただいたが、時間ごとに参加者がばらけ密にならず、30人程度の方がお越しくくださった。機会があればまたやっていきたい。</p> <p><質疑応答></p> <p>委員 交流ホールのがん情報コーナーのブックリストのチラシを見て、現場で働く方のリアルな声を感じられ、「こういう本がいいですよ」と教えてくれ、図書館の本質に迫るものがあり共感させてもらった。</p> <p>委員 がん情報については、私自身が助かった。自身ががんになり先生の話を書く際、本を読んでいると先生の説明が大体わかり、治療方法を選ぶ際も助かりありがたかった。</p> <p>委員長 「昔の道具で遊んでみよう」は2人で対応した。1人当たりの説明時間が長い、4、5人ずつ話して、説明後に糸車の体験をし、終わった頃になるとまた次の人が来るという感じで、参加者の待ち時間が少なくて良かった。今回気付いた点は、子どもが黒電話を知らないということ。小学生なのでダイヤル式を知らないのはしょうがないが、災害時にプッシュフォン式も使えないと、携帯が壊れた時に問題があるので、この企画は災害対策にもなるのではと感じた。小学校1年生の「たぬきの糸車」の単元で難波田城資料館から糸車を持って学校へ行くのだが、最近はコロナ禍ということもあり、やってみせるのみで体験ができない。今回はここで体験してもらうことができた。大人の方でもやらせてほしいという人がいた。災害対策の本も絡めてやるのも良いのではないかと思った。</p> <p>委員長 黒電話は実際に繋げてやったのか。</p>
--	---

図書館	繋げてはいない。「何番かけてみて」と言ってダイヤルを回してもらっただけだったが、すごく人気のあるコーナーだった。
委員	子供にとって貴重な体験だったと思う。
図書館	<p>【ふじみ野分館】 ・資料に基づいて報告</p> <p>おはなし会はふじみ野交流センターのプレイルームとふじみ野児童館に行かせていただいている。プレイルームはまだ5組までの事前申込定員制、ふじみ野児童館は入場制限があるが、30人以上は入場でき、おはなし会は制限人数いっぱい入っていただいているということである。12月はふじみ野交流センターで「にこにこひろばクリスマス会」があり69人の参加があった。</p> <p>ぶんちゃんひろばは毎回子どもの興味に対応するよう、色々なことをやっている。11月は科学遊びとして音に焦点をあて心臓の音や声について考えてみた。音については小さい子でもわかる絵本も多く出ており、それを組み合わせ図書館ならではの会にできたのではないかと思う。12月と1月はアニメーションを行った。12月はクリスマスに因んでクリスマスベルを作る工作も含めた内容、1月は記号をとりあげた『へんてこはやくちことば』という絵本を用いた。以前自主事業のアンケートでどんなことを取り上げて欲しいか聞いたところ、マークや記号をやってほしいという声があり、今回このような形で取りあげた。交流センター内にも色々なマークがあり、施設を探検してマークを見つけ、自分でもこういうマークがあったらいいなというマークを考えてもらい、最後に発表していただいた。連続して参加してくれたお子さんが、前は恥ずかしがってなかなか声が出なかったが、今回はがんばって皆の前で発表してくれていた姿をみて、続けて取り組むことがいいのかなと改めて感じた。</p> <p>自主事業について、11月は富士見市子ども読書月間に因んで夏休みスタンプラリーの縮小版としてスタンプラリーミニを行った。集めるポイントは10ポイント。本を借りる、おすすめカードを書く、ポプラディアで調べる、絵本を読んでクイズに答えるものだった。おすすめカードは廊下にも掲示した。</p> <p>11月3日文化の日には、5月5日の「はるのはらっぱおはなし会」に続き、「あきのはらっぱおはなし会」を勝瀬原記念公園で行った。公園には沢山のご家族がいらっしやり、おはなし会を目的で来てくれたご家族もいて、総勢49名の参加があった。皆で絵本やパネルシアターを楽しむことができた。</p>

1 1月は例年行っている「五感でたのしもう！絵本と音楽」も行った。人材バンクに登録されているオトミックさん、保育者であり絵本の勉強もされているまるのみなさんにご協力いただいた。更に今回は勝瀬中学校演劇部の皆さんに『あらしのよるに』を群読していただいた。絵本の読み聞かせだけでなく、会場設営や片付けも手伝っていただいたのだが、中学生が周りをみて、「ここが人が足りないから私がやります」と声をかけている姿は印象的で感動した。勝瀬中学校には、6月はぶんちゃんひろばで科学部ともコラボをさせていただいたので、12月に各部活に感謝状を贈らせていただいた。

12月は定期開催しているエアロブックス®の3回目を行った。リピーターの方も、新規の方も5、6組いらっしゃり、いいバランスで開催出来ている。

12月24日はこれも定例となっている「大人のためのおはなし会」をピアザで開催した。図書館と富士見市おはなしボランティアすぷんふるの共催で実施している。昨年のアンケートの中で、イベントのタイトルと語られる内容がアンバランスではないかというご意見をいただいたのを受けて、今回はより大人の方へ響くようなプログラムになるよう努力した。結果アンケートからは「大人のおはなし会として楽しめた」という感想をいただいた。また、広報については、図書館ではホームページやチラシを作成し、すぷんふるのメンバーの方が沢山の市の掲示板にポスターを貼って下さり、そういった努力のおかげで申込数34名という集客にも結び付きありがたかった。内容も語りだけでなく、図書館スタッフが朗読で参加したり手遊びをやったり、共催という形でやらせていただいている。

1月は「絵本にでてくるお菓子づくり」を行った。毎年人気のイベントだが、今まではロングセラーの絵本を取り上げていたが、今回は新刊本『王さまのお菓子』にでてくるガレット・デ・ロアを取り上げた。フランスの伝統菓子で、1月に占いの意味も込めて皆で食べるお菓子で、開催時期もこれまでの2月から1月にした。冬休み中ということもあり、これまで以上の申し込みがあった。また、小学生の姉妹、兄弟での参加もあり、色んな形で楽しんでいただけたイベントになったかと思う。また、お菓子を焼いている時間に世界の伝統菓子クイズも行ったところ、興味をもってくれたお子さんも多く関連資料も借りてくれた。

新春貸出福袋についてふじみ野分館では一般14セット、児童15セットを用意した。一般セットの包装は7月に行った折り染めイベントの参加者に染めて頂いた和紙で本を包んだ。利用者から「温もりがあっていいですね」というお声もいただいた。おまけとして小川和紙で作った葉をつけた。児童の方はうさぎ年に因んでうさぎのイラストで包装した。また今年は児童の絵本コーナーの面だしに並

べ、タイトルも見やすかったためか、借りられるのも早かったと思う。おまけはハートのオブジェをつけた。

外部連携について、学校では勝瀬小学校で主に電子図書館の登録をさせて頂いた。約半数の児童の登録があった。また、12月のぶんちゃんひろばにて勝瀬中学校生徒のボランティアを受け入れしている。

ふじみ野交流センターでは、毎月のふじみ野じゅくへの資料提供と、館内での関連資料の展示を行っている。更に12月は企画協力として市民の方からのご紹介もあり、ライアー演奏と翻訳家である長友恵子さんのご講演をお願いすることができた。内容は長友さんが翻訳されている『ピーターラビットのクリスマス』の朗読や、『不思議の国のアリス』を翻訳された時のエピソードを伺う事ができた。後半はシュタイナー教育から生まれたライアーの優しい音色を会場いっぱい届けていただき、参加者の皆様から「素敵な時間を過ごすことができた」と感謝の声をいただいた。

テーマ展示について、11月は富士見市子ども読書コンクールのPOP作品を展示した。12月の一般テーマ展示は新聞書評欄に載った本を集めた。通常は書評棚で4冊展示し、1冊借りられたら1冊追加するという形で展開しているが、12月はテーマ展示で1年分を集めたので、利用者の方も手に取りやすかったと思う。1月は鶴瀬西分館でも展開したように「人生に向き合うブックリスト」から展開した。市内所蔵の18冊程度を集めて展開したところ、すぐに借りられ反響が大きかった。

館内の企画は、来館したお子さんに季節の折り紙をおってもらい、廊下の壁面スペースに貼るといったもの。この折り紙企画をご覧になった利用者の方が折り紙を寄贈して下さい、ありがたく使わせていただいている。

<質疑応答>

委員

ふじみ野じゅくに参加した際、1月は縄文土器の関連資料があり、私自身縄文時代の資料があんなにあるとは知らなかった。交流センターの行事の時に図書館が関連本を展開しておいてくれるので、行事が終わった後でも借りる事ができるのでありがたい。他の公民館ではこのような密接な取り組みができないので、よりありがたく感じる。

委員

福袋は3館で実施していて人気だということで、鶴瀬西ではつるせ台小の児童が選んだというのを聞いて、福袋という形でなくても利用者が利用者に贈るような、本を贈る日のようにやってみるのも面白いのではと思った。何故なら、中央館の福袋に選んだスタッフの

	<p>想いのコメントをつけたと伺って、もしかしたら図書館にいらしている方でもコメントを伝えたい方がいるのではないかと思った。人気があるということなので、そこに利用者も関わるといいなと思う。</p> <p>がん情報から、子ども読書推進計画についても楽しみだけの読書ではなく、本から情報を得るという観点から何かしらあるといいと思う。本から情報が得られるということを知って大人になっていくのと、知らないまま大人になることは違うと思うので、そういう目配りもして、市全体で子どもを育てていくことを考えられると良いと思う。</p>
委員	ふじみ野分館は勝瀬中学校科学部と連携があるが、図書館からお願いしているのか、それとも学校側からか。
図書館	図書館からお願いしている。演劇部についても同じである。
委員	他の図書館ではないのか。
図書館	勝瀬中学校は図書館でのボランティア活動の希望があったので受入れをしている。
委員	職場体験では来ていないのか。
図書館	ここ2、3年はコロナの関係で職場体験は中止となっている。
委員	<p>学校教育課との連携になるかと思うが、中学校との協力について、教育委員会として生涯学習課が橋渡しをしてほしい。</p> <p>難波田城資料館では小学3年生は昔のくらし体験、水子貝塚資料館では縄文時代の学習で6年生が必ず各学校から来る。副読本があるが、それを知っていて説明すると子どもたちは理解しやすいが、それを知らないと言明しづらいところがある。そういうことがあったので、副読本をいただいた。どういうことを学校が欲しているのか情報がほしい。</p> <p>文科省でも地域連携をしたプロジェクトをやるように言われており、水谷公民館から学校の協力要請もあり、この地域でほうき作りをしてほしいと言われた。米作り体験、防災などテーマを考えているがコーディネイトをして欲しいと頼まれた。プロジェクトの中で子ども達は調べるものが出た時、必ず図書館に来ると思う。何を欲しているか情報があれば、図書館も資料を集めやすく、子ども達のサポートができる。</p> <p>学校がどんなことで動いているか生涯学習課の方でつかんで図書館に教えて欲しい。そうすれば何で連携できるか考えやすい。</p>

図書館	夏休みの宿題を調べるのに「こういう本がありますか」と聞かれることが多いが、図書館が夏休みの宿題なども分かっているならば、予め資料を置いておける。今年は夏休みの宿題を調査して資料を集めたいと思っている。
委員	それは子どもたちにとってもありがたいと思う。
委員	子ども読書コンクールのPOPは課題図書とかではなく、子どもたちの好きな本を読んで書けるというのがとても良いと思う。可能ならコピーなどしてPOPのそばに該当本を置いてあげると良いのではないか。そうすれば、この子がこの本を勧めているという繋がりもできる。
図書館	ふじみ野分館では一緒に並べて置くスペースがないため、館内でミニ展示として紹介されている本を集めて同時展開している。
委員長	ふじみ野分館の配布資料に入っているチラシの説明をお願いします。
図書館	3月4、5日とふじみ野交流センターで文化祭がある。この地域で活動しているサークルなどの舞台発表や作品展示などがあり、ふじみ野分館も参加させていただく。その中で中央館の図書館まつりでも富士見市の50年を上映したように、全面的にふじみビデオクラブさんにやっていただくのだが勝瀬地区の映像を上映をする。お時間があればぜひご覧いただきたいと思う。
委員	こういう映像は、このような機会がないと見られなく、地元の方がよくわかるものなので、ぜひ宣伝してほしい。よろしくお願いします。
委員	映像の原本はどこでもっていたものか。
委員	図書館の資料室に全部あり、資料を整理している段階で見つかったものである。これからも新しい発見があると思うので、皆さんに見て頂きたいと思っている。
委員	これ自身は単独では借りることはできないのか。
委員	資料室にあるのは未整理である。
図書館	図書館まつりで上映したものは貸出できるようになっている。

委員	ではこれも終わったら貸出できるようになるとありがたい。
図書館	そのようにする予定である。
委員	読み聞かせボランティアあいあいとして、図書館から離れている水谷地域の読み聞かせについて危惧している。水谷公民館との話し合いで4月からおはなし会をすることとなった。図書館でも周知などご協力をお願いしたい。先だって2月に行ったおはなし会に来てくれた方から「図書館が遠くて、なかなか小さい子をつれて行けないのでありがたい」というお話もいただいた。
委員長	水谷地区の読み聞かせありがとうございます。よろしく申し上げます。 まだ時間があるので、中央館長よりお話ししていただきたい。
図書館	新年度にむけて令和5年度新1年生の利用カードの作成を進めている。新1年生のカードはふわっぴーのイラストのついた新しいカードになる。またセカンドブック事業として1年生に本をプレゼントしているが、これまではこちらで選んだ本だったが、「何冊かから選べないか」という話があり、現在資料を作成しており、4冊ぐらいから選んでもらうようになると思う。その集計など学校側にお手伝いしていただく事になるかと思うので、校長会でお話していく予定である。 社会科の副読本について、いただいたものをデジタル化できたらと思っている。小中学生がひとり1台端末となっているが、まだまだ活用されていないようであるため、調べる学習にでも使えるようにしていきたい。
委員	デジタル化できるなら、難波田城資料館も沢山の資料を持っているのでデジタル化できるとありがたい。図書館だけでは難しいと思うので教育委員会全体でやって頂けるとよい。富士見市文化財の目録も作ったので、有形無形含めて活用いただけるとありがたい。
委員	セカンドブックとは何か。
図書館	ブックスタートは色々な自治体でやっている。富士見市ではあいあいさんに入ってもらい読み聞かせをしていただいている。それとプラスしてセカンドブックと言うのが富士見市独特の活動となっている。読書のきっかけをつくるという意味で小学1年生に本をプレゼントしている。知らない方もいると思うのでぜひ広めてほしい。子

	<p>ども読書活動について、今回キャッチコピーに「みんなで育てる、本で育てる」をいれていただいている。</p>
委員	<p>私は富士見市音訳グループかたりべからきている。音訳講座に参加して講座は終わったが、その後の仕事が全然見えておらず、図書館で何をするのかがわからなかった。しかし、音訳グループの先輩から「私たちはボランティアであり、図書館の仕事とは違うけれども音訳をやっている。」とお聞きし、ボランティアグループに入っている。図書館でも音訳講座の中級、上級講座を開催してくれているが、実際はボランティアグループかたりべで経験を積み、図書館音訳者の仕事もやらせていただいている。同じ富士見市の中で困難を抱えている方々のためにやっているのだから、図書館の音訳中級講座のどこかで、ボランティアグループかたりべのことを皆さんに紹介する時間を設けて欲しい。社協でやっているボランティアと図書館でやっている音訳者の仕事は、利用者さんのためにやっているという事は同じなのでお願いしたい。</p>
図書館	<p>私も中級講座のなかでいくつか担当するので、その中でお話ししたいと思っている。音訳者養成講座の後に活動できる場をつくれるよう、障がい福祉課や、社会福祉協議会などにコンタクトをとっているが、まだまだ周知が足りない。必要としている方に宅配サービスや Zoom での対面朗読等も行っているのだから、利用者を増やせば、音訳者の活動の場も増やせると思うのだから、今、色々探っているところである。</p>
委員	<p>講座も初級中級と間を詰めて開催してくれ、今講座を受けている方たちが、ちゃんと最後までたどり着いてお仕事できるよう考えて下さっているのだから、その波にボランティアグループも乗せていただければと思う。</p>
図書館	<p>今回はあえて初級と中級を詰めて、モチベーションが下がらないうちにやっているのだから、その流れでやっていきたい。</p>
委員	<p>図書館まつりも3年ぶりで大変だったと思う。学校もコロナ禍でなかなか難しかった行事を色々工夫しながらやっているが、色々ご意見をいただき、その宝物の意見を大事にしながらやっていきたいと思っている。</p> <p>セカンドブックも非常に良いと思う。選択できるのがありがたい。今学び方を多様化しようというふうになっており、今までどちらかという教員が一斉に教えていたが、子どもたちの学び方、自分たちが持っている個を大事にしながらということなので、選べるのが本当にありがたいと思う。</p>

生涯学習課	<p>第4次富士見市子ども読書活動推進計画（案）の中にアンケート結果があるが、その中でこれは学校の問題だと思ったのは、図書館の利用率で、ほとんど行かないが44%、理由は「遠いから」が34%、まさに針ヶ谷小は遠いので厳しいというのがある。オンラインなどでできることが増えてくると良いと思う。このあたりの数字を解決するためにぜひ一緒に話をしていければと思う。生涯学習課を通して何かできる事、例えばセカンドブックの良さをアピールしても良いと思う。知ってから子どもたちが本をもらうだけで、本のありがたみが違ってくると思う。できる事から何かできたらよいと思っているのが一つ。</p> <p>二つ目に、先ほど「学校が欲していることをわかるといい」という意見が嬉しかった。例えば国語の教科書を1年生から中学3年生まで各図書館においていただくと、どの単元で本に親しむ学習が出てくるかわかると思うので、そのあたりの活用がわかるのではないか。そのようなこともできたらよいと思っている。富士見市が子どもたちを本で育てる、みんなで育てる、ぜひ学校もみんなで行っていきたいと思っている。何かあれば声をかけて頂きたい。</p> <p>国語の教科書は各館で所蔵しており、展示もしている。児童コーナーにあるのでご覧いただきたい。</p> <p>4. その他（次回日程決定）</p> <p>次回は、5月19日（金）午前10時から視聴覚ホールで開催する。</p> <p>5. 閉会</p>
-------	--